

利用成果報告書

- 1 課題番号 R2-F20
- 2 報告者 高橋 悠 東京大学医学部附属病院
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 消化管腫瘍の浸潤に関わる機構の解明について
- 5 使用装置名 ArrayScan 細胞イメージアナライザー 共焦点顕微鏡 SP5
- 6 利用期間 令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日
- 7 利用成果・
実績の概要 消化管上皮由来腫瘍(胃癌・大腸癌細胞株)において、共焦点顕微鏡にてアクチン等の蛍光染色にて浸潤突起形成などの浸潤している様子を観察した。さらにArrayScanにて癌細胞の浸潤の程度を評価した。これらの解析により特定遺伝子が浸潤に及ぼす影響を明らかにした。
- 8 社会・経済へ
の波及効果 本研究で癌浸潤に関与する遺伝子が明らかになったことは、予後予測因子としての応用や阻害剤開発による創薬に繋がると考えられる。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当なし